

南日本情報処理センター竣工式

IT産業の新拠点に

（株）南日本情報処理センター（本社・鹿児島市）は20日、黒坂信彦社長、本、鹿児島市東開町の現地で



完成を祝い、テープカットを行う関係者
＝鹿児島市東開町の新社屋で

新社屋竣工式を開き、関係者100人が出席し、IT産業における新たな拠点施設の完成を祝った。

竣工式では初めに、東條正博（株）東条設計代表取締役社長、井之上正敏（株）大林組相談役ら7人がテープカット。会場を移して開かれた祝賀会では、初めに黒坂社長が「今年で創業33年を迎え、新社屋も無事完成し、関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。これからも顧客満足度の充実に頭を悩ましてまい進していききたい」と挨拶。続いて

薩摩若鷲会が奉仕作業

「平田靱負」像の清掃に汗

県農工産業連合会（林民郎会長）は19日、鹿児島市の平田公園で薩摩若鷲会の会員約50人が参加して土木の大先輩「平田靱負」銅像及び公園周辺の清掃作業を行った。

薩摩若鷲会は、今でも士族の清風を後継する。平田靱負は、今でも土木の大先輩として土木の大先輩「平田靱負」銅像及び公園周辺の清掃作業を行った。



汗だくなり銅像の清掃に精を出す会員
＝鹿児島市の平田公園で

－第17回「日建市」－

各社の新製品に賑わい

建設機械の春の大展示会「第17回日建市」が今年も18日から20日までの3日間、鹿児島市の石川島播磨重工業の鹿児島工場で開催され、各社の新製品がずらりと展示販売された会場には、約1100人が



開催に先立ち行われたテープカット
＝鹿児島市のIHI鹿児島工場内で

「新しい風を吹かそう日建市」をテーマに、開かれた展示会では、約60社のメーカーが協賛。会場では、建設機械や測量機器などがずらりと並び、建設機械の伸縮・移動・起伏に運動する「地面に対する水平移動」、ブームの伸縮に運動する「ブームに対する平行移動」、さらに、旋回を加えた複合移動など、三次元移動を実現した同製品に、注目を集めていた。主催者を代表して、上籾裕（株）日本建設リース社長は「各種建設機械を取り揃えています。一般の方々にも楽しんで頂ける展示会にしていきたい」と話した。

九州地区溶接技術競技会

45人が日頃の成果競う

日本溶接協会
技術検定委

日本溶接協会九州地区溶接技術検定委員会（加藤光昭委員長）は19日、鹿児島市のポリテクセン

ター鹿児島で第33回九州地区溶接技術競技会を開き、九州・沖縄各地の代表者が被覆アーク溶接（手溶接）の部に22人、炭酸ガスアーク溶接（半自動溶接）の部に23人の計45人が出場し、日頃の成果と技術を競い合った。開会式では冒頭、加藤委員長が「溶接は物づくりの基本であり、皆さんはその最先端に立っていただいています。コンクールでは規則・ルールに基づいて、プレッシャーも感じるでしょうが日頃の鍛錬、成果を発揮し楽しんでほしい」と挨拶。



真剣な表情で競技に挑む出場者ら
＝鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で

続いて、昨年優勝の長崎県支部から優勝旗返還が行われ、長谷川博日本溶接協会総務部長、松島修同協会九州地区支部委員長から「県代表として高い技術、技能を遺憾なく発揮し上位入賞を目指して頑張ってください」と祝辞を述べた。競技説明、選手紹介後、競技が開始され、参加者は普段の練習の成果を発揮しようと真剣な表情でそれぞれの競技課題に取り組んだ。



草払い等に汗を流す社員ら
＝鹿児島市伊敷町の甲突川右岸で

審査は外観試験、放射線透過試験及び曲げ試験などを400点満点で採点。結果は6月末頃に決定し、団体表彰は優勝のみ、個人表彰は手溶接、半自動溶接それぞれ上位合わせて10人以内を原則とする。表彰式は12月上旬に行う予定。

県代表者は次の通り
【被覆アーク溶接（手溶接）】下之蘭和也（三洋工機（株）） 湊洋一郎（九州旅客鉄道（株）） 若松幸司（株）相良製作所
【炭酸ガスアーク溶接（半自動溶接）】西卓己（株）相良製作所 外蘭誠（三洋工機（株））

富士産業が奉仕作業

地域生活道路を清掃

（株）富士産業（徳田敏郎社長）は17、18日の両日、鹿児島市の市道小野・山手線の同社本社前から伊敷町石井手取水場までの1・5キロ区間の雑草伐採や樹木の枝切りなどの奉仕作業を実施し、地域の生活道路が見通しよくきれいになり、地域住民から喜ばれた。

毎年恒例となった奉仕作業は、会社前を通る道路に樹木などが散乱した

こと等から車両通行の妨げになり、危険なため奉仕作業を実施しているもの。この日は、4台の作業車や草刈り機、くま手、スコップ、ホウキなどを持って事務所に集合。作業を前に、徳田社長が「日頃、地域の方々には工事等で迷惑をかけることも多い一方、理解と協力を頂き、感謝している。今日は、奉仕の心と感謝

の意を込めて作業を行ってほしい。また、作業ではけがのないよう十分に気を付けて安全作業を」と挨拶した後、作業上の注意事項や作業範囲の確認などを行い、作業を開始した。道路沿いに、うっそうと繁った雑草や堤防の夏草など、手際よく刈り取る姿に道行く人々が感謝していた。

甲突川沿いの右岸で作業を終えた小田原等営業部長は「会社前を通る市道小野・山手線も国道3号の裏道として急激に交通量が増えていることから、道沿いの雑草などが交通に支障を生じていた。作業を終え、道路もきれいになり、地域住民に少しでも恩返しができるのでは」と笑顔で語った。

技術、労働安全衛生研修会

資質向上、技術力強化を

県地質調査業協会

県地質調査業協会(西
幸男理事長)は24日、鹿
児島市のベイサイドガー
デンで14年度技術研修会
並びに労働安全衛生教育
研修会を開き、約80人が
出席して、各講師の発表
する研修科目を熱心に学
んだ。



各講師の講義を熱心に聴く出席者
＝鹿児島市のベイサイドガーデンで

午前中に行われた技術
研修会では、山口君男氏
(アシアテック株)が平
成13年9月の種子島豪雨
災害、日高和己氏(株)日
本シオテック)が鹿児島
県における地下水開発と
水質の問題点、松元良浩
氏(日本地研株)が湧水
を伴うしらす切土のり面
の対策、井村隆介鹿児島
大学理学部助教授による
北西部、出水断層帯活動
の履歴についてそれぞれ
講義があり、出席者は
メモを取るなど熱心に聴
き入った。

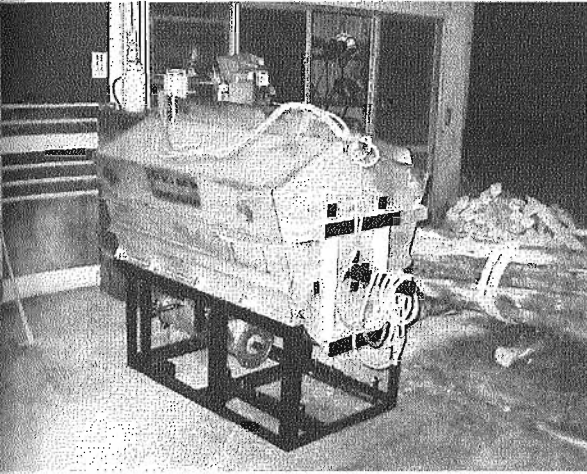
午後からは、西理事長
・南九州フジタケンゾー
(株)(前岡安義社長、本社
・鹿児島市)はこのほど、
調整として用いる事で完
熟堆肥化までの時間短縮
を可能とし、伸び悩む家
畜の糞尿リサイクルの利
用促進を図ることを目的
に開発。

環境プラントの開発
エキストルーダーを開発

木廃材と家畜糞尿堆肥化

アドバンスアシスト

概ね一般から排出され
る食品残渣の含水率は高
く、発酵しづらく処理が
困難、また、法面吹き付
け資材に含まれるバーク
と呼ぶ針葉樹等の木チッ
プにおいて、針葉樹その
ものが持つ防腐物質のた
めに4～5年間は土に戻
らず発芽にも影響を及ぼ
している。



食品残渣と建設木廃材、家畜糞尿を混
合し、堆肥化させるエキストルーダー

昨今、有機農法が叫ば
れているが、そのための
完熟堆肥は不足している
事実があることなどから
家畜糞尿を堆肥化させる
ための



ライセンス取得に向け実習を受ける社員
＝鹿児島市の同社で

同社の吉田社長は「新
リサイクル法が施行され、
建設業界のみならず一般
家庭の食品残渣や、農家
から排出される家畜の糞
尿の処理問題も大きな問
題となっている。共通し
て言えるのは、需要と供
給のバランスが保たれて
いないこと。同機で建設
木廃材と糞尿処理が抱え
る問題を少しでも改善さ
せ、利用促進を図りたい

食品残渣と混合し、木チ
ップに対して高圧縮によ
る吸水効果から強制的に
微生物を浸透させて水分

調整として用いる事で完
熟堆肥化までの時間短縮
を可能とし、伸び悩む家
畜の糞尿リサイクルの利
用促進を図ることを目的
に開発。

これにより、建設廃材
と家畜糞尿を一度に解
決するリサイクルシステ
ムを構築することを可能
とした。

新しいタイプの防水材
「すいすいコート」の認
定店として県内で初めて
ライセンスを取得、県内
各地で営業展開を始めた。

同商品は、飛び火に関
する国土交通省大臣の認
定(認定番号DR1000
33)を取得しており、
期待が寄せられている。
主な特長は、市街地等
等による発火を防ぐとい

での通常火災発生におけ
る火の粉によって、飛び
火などが重大な問題とな
っている中、既に、東京
23区、千葉県等では不燃
材でなければならぬこと
から、戸建住宅のルーフ
バルコニー等に同商品を
施工することで、飛び火
等による発火を防ぐとい

県内初の認定店

南九州フジタケンゾー
(株)(前岡安義社長、本社
・鹿児島市)はこのほど、
調整として用いる事で完
熟堆肥化までの時間短縮
を可能とし、伸び悩む家
畜の糞尿リサイクルの利
用促進を図ることを目的
に開発。

これにより、建設廃材
と家畜糞尿を一度に解
決するリサイクルシステ
ムを構築することを可能
とした。

新しいタイプの防水材
「すいすいコート」の認
定店として県内で初めて
ライセンスを取得、県内
各地で営業展開を始めた。

同商品は、飛び火に関
する国土交通省大臣の認
定(認定番号DR1000
33)を取得しており、
期待が寄せられている。
主な特長は、市街地等
等による発火を防ぐとい

での通常火災発生におけ
る火の粉によって、飛び
火などが重大な問題とな
っている中、既に、東京
23区、千葉県等では不燃
材でなければならぬこと
から、戸建住宅のルーフ
バルコニー等に同商品を
施工することで、飛び火
等による発火を防ぐとい

での通常火災発生におけ
る火の粉によって、飛び
火などが重大な問題とな
っている中、既に、東京
23区、千葉県等では不燃
材でなければならぬこと
から、戸建住宅のルーフ
バルコニー等に同商品を
施工することで、飛び火
等による発火を防ぐとい

MICが本社を移転

情報管理も一層強化

(株)南日本情報処理セ
ンター・MIC(黒坂
信彦社長)はこのほど、
鹿児島市東開町の新社
屋に本社を移転、各部
署の移転作業も終え、
22日、新社屋での完全
なスタートを切った。
今回の移転は、県内
4カ所に分散化した事
業所を統廃合し、経営
の合理化及び効率的な
職場環境を図ったもの

で、インターネット事
業推進室と情報技術事
業推進室のシステム運
用課を除く、全部署が
移転となった。
また、新社屋はOA
フロアを全面的に採用。
情報セキュリティ面
も、人感センサー及び
指紋照合システムを導
入し、入退室の制限と
キーレス化を構築。空
調設備もガスと電気の

両系統からなる2重体
制を図り、床吹き出し
を採用している。なお
同社では6月末の販売
に向け、現在、仮称・
工事履歴管理システム
を開発中である。
建物規模は、SRC
造4階建延べ5879
・48平方(附帯除く)
で、2階から4階フロ
アは、ライトコートを
採用し、快適な職場環
境を創出している。
新住所は東開町4-
104で、代表電話は
099・269・97
00。



最新設備を導入したMIC新社屋
＝鹿児島市東開町で

ISO9000・14000認証取得コンサルティング

建設業専門 株式会社 アニップ

お問い合わせ先 鹿児島市 名山区 9番 15号
TEL 099-805-0909 FAX 099-805-0911

時代が求めた軽さです。

新石州 軽量防災瓦

株式会社 アメックス協販
鹿児島市 谷山港 1丁目19番地 TEL (099) 261-7321

11年
ISO9001
認証登録